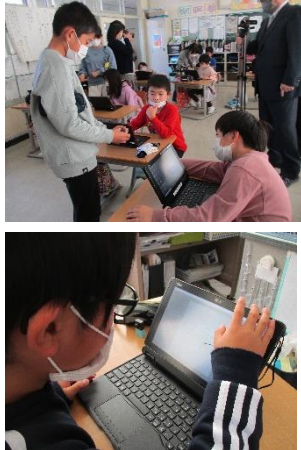



## 5 実践事例（1）

### 天童市立寺津小学校

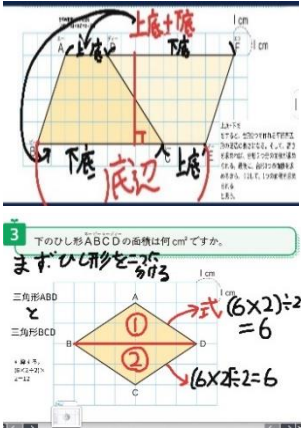
#### <1>

学年・教科	3、6年・総合的な学習の時間	
活用場面	プログラミング的思考を活用しながら課題解決をする場面	
活用ソフト名	MESH	
授業形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
活用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校の玄関にドアチャイムがない」という自分たちの課題から、MESH とその対応アプリを使い、3年生を中心にインターフォンを制作する。</li> <li>・ICT 支援員や上学年の児童、教職員からプログラミングの基礎を学ぶ。</li> <li>・6年生からプログラミングの方法やコツを聞き、自分たちの作品に生かす。</li> <li>・設置後、全校児童・教職員にアンケートを取り、さらによいものを作り出す。</li> </ul>	
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センサーや音、カメラをプログラミングすることができ、様々な条件を元に試行錯誤することができる。</li> <li>・相手意識をもち組合せを考えることで、課題解決学習を進めることができる。</li> <li>・プログラミングが実生活に役立つことだと実感できる。</li> </ul>	


#### <2>

学年・教科	4年・音楽	
活用場面	曲の特徴に適した表現を工夫する場面	
活用ソフト名	Garageband	
授業形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習	
活用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード機能を使い、自分のイメージに合った和音や旋律をつくる。</li> <li>・ドラム機能を使い、曲の特徴を意識して、リズムをつくる。</li> </ul>	
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器の種類を選ぶことができるため、自分のイメージや曲想に合わせた音作りができる。</li> <li>・制作した旋律や和音、リズムを聴き合ったり、同時に弾いたりすることで、音の重なりやリズムの組み合わせを感じることができる。</li> </ul>	


#### <3>

学年・教科	5年・算数	
活用場面	面積を求める場面	
活用ソフト名	学習者用デジタル教科書	
授業形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
活用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積の求め方を考える学習で、デジタル教科書の図を使い、補助線を入れながら立式する方法を考える。</li> <li>・各自が考えた方法を共有し、様々な面積の求め方を学ぶ。</li> </ul>	
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図を切る必要がないので、切り間違いもなく、画面上で何度も図に切れ目を入れることができるので、立式する方法を考えることに専念できる。</li> <li>・図の書かれている紙を用意する等、教材の準備に時間がかからず、教師の負担を軽減することができる。</li> </ul>	



#### <4>

学年・教科	3年・国語	
活用場面	より詳しい情報を得る場面	
活用ソフト名	ARAPPLI	
授業形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
活用法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめて知ったことをまとめよう」の学習で、図鑑に付いている AR 機能を使い、自分の知りたい生き物についての情報を得る。</li> </ul>	
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は見えない部分を見たり、動きを間近に見たりと視覚的に捉えやすく、より詳しく知ることができる。</li> </ul>	



<5>

<b>教科等によらない汎用的な活用</b>		
<b>活用場面</b>	アイデアや考えをふくらませる場面	
<b>活用ソフト名</b>	Jamboard	
<b>授業形態</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input type="checkbox"/> その他	
<b>活用法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれが考えたことや感想を付箋に記入し、グループや全員で1つのボードに貼り付ける。</li> <li>・グループ毎に、付箋に書かれた情報を視点に合わせて整理する。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の画面上で操作するため、模造紙や付箋紙などを準備する必要がなく、教師の負担が軽減できる。</li> <li>・たくさんの情報を一度に見ることができ、他の考えや思いに触れ、視覚的に捉えることができる。</li> <li>・操作したことや整理している様子を、リアルタイムに画面で確認することができる。</li> </ul>	


<6>

<b>教科等によらない汎用的な活用</b>		 
<b>活用場面</b>	相手に分かりやすく伝える場面	
<b>活用ソフト名</b>	Google スライド、Apple Keynote	
<b>授業形態</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input type="checkbox"/> その他	
<b>活用法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人やグループで、集めた情報をスライドにまとめる。</li> <li>・1つのシートで複数人が協働的にスライドづくりをしたり、お互いに見合ってコメント (Google スライド) を付けたりする。</li> <li>・プレゼン機能を使って、発表する。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数人が協働的に書き込むことができるので、よりよい表現方法を見出せる。</li> <li>・コメント機能 (Google スライド) を使うことにより、それぞれの考えが分かり、自分たちで改善点が見つかることができる。</li> <li>・アニメーション機能 (Keynote) を活用することで、相手意識をもってスライドを作ったり、発表したりすることができる。</li> </ul>	

<7>

<b>教科等によらない汎用的な活用</b>		 
<b>活用場面</b>	考えをまとめたり、整理したりする場面	
<b>活用ソフト名</b>	ロイロノート	
<b>授業形態</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input checked="" type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input type="checkbox"/> その他	
<b>活用法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをテキストに書き込んだり、Web 機能を使って調べたりする。</li> <li>・シンキングツールに情報を置き、情報を整理したり、分析したりする。</li> <li>・アンケート機能を使って、他者の考え等の情報を得る。</li> <li>・テキストをつなげることで、1つのスライドにして考えをまとめる。</li> <li>・既存の情報を元に考えを作り出す。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを可視化し、共有することで、様々な考えに触れることができる。</li> <li>・シンキングツールを活用することにより、情報を整理しやすくなる。</li> <li>・順序よくテキストをつなぐことで、思考を整理したり、分かりやすく発表したりする手立てにすることができる。</li> <li>・過去の学習の記録や他教科の記録を活用することができ、単元縦断・教科等横断的な学習ができる。</li> </ul>	

<8>

<b>教科等によらない汎用的な活用</b>		
<b>活用場面</b>	地域の方や専門家の話を聞く場面	
<b>活用ソフト名</b>	Google Meet、Zoom	
<b>授業形態</b>	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習 <input type="checkbox"/> その他	
<b>活用法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を中心に、自分たちの課題解決に向けて、地域の方や専門家、中学生など、学校外の方にインタビューする。</li> </ul>	
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でも、地域の方や専門的な知識をもっている方と交流することができる。</li> <li>・遠くにいる人と交流することで、今までにはない視点や考えに触れることができる。</li> </ul>	